

imageRUNNER ADVANCE 6565 III



本製品の製品環境情報は以下の通りです。なお、本データシートは2021年2月17日のデータに基づいて作成したものです。

本体機器の対応規格・認証等



エコマーク適合
(16 155 032)



EU RoHS指令
(特定10物質) 対応



カーボンフットプリント
(CFP) 登録製品
(CR-DG02-18031)



どんぶり認証

本製品の環境配慮活動・環境情報

製品含有 化学物質管理	製品中の有害物質廃除のため、製品・包装材への使用禁止物質などを定めたキヤノングリーン調達基準を制定し、その基準を遵守した原材料および部品を調達しています。(キヤノングリーン調達基準： https://global.canon/ja/procurement/green.html)
包装材	鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを使用していません。 モントリオール議定書に定めるオゾン層破壊物質（CFC/HCFC）を使用していません。
製造工場	ISO14001認証取得工場で生産しています。
本体機器の 回収・リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ■回収方法:事業所で使用済みとなったキヤノン製品を回収し、適切な再資源化を行うキヤノングリーンリサイクルサービス（有償）をご用意しています。(https://canon.jp/corporate/csr/environment/collect/cgrs) ■リサイクル:回収した製品はキヤノングループリサイクル会社等にて、再利用・再資源化処理を行っています。
トナー容器の 回収・リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ■回収方法:使用済みトナー容器の回収については、担当のサービス店、またはお買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。 ■リサイクル:回収した「トナー容器」は、キヤノングループリサイクル会社にて、プラスチック材としての「材料リサイクル」、その他は「エナジーリカバリー」を行なっています。

トナー成分の化学物質情報

本製品対象のトナー	NPG-54ブラックトナー
<p>トナー成分について、2021 年2 月17 日現在、下記内容であることをご報告いたします。</p> <p>EU RoHS 指令（2011/65/EU（EU）2015/863）の制限物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ジフェニル（PBB）、ポリ臭化ジフェニルエーテル（PBDE）、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)（DEHP）、フタル酸ジブチル（DBP）、フタル酸ブチルベンジル（BBP）、フタル酸ジイソブチル（DIBP））を最大許容濃度を超過して使用しておりません。</p> <p>なお、「安全データシート(SDS)」はキヤノンホームページにて公開しています。 (https://canon.jp/corporate/csr/environment/customer/products/msds)</p>	

カーボン・オフセットの取り組み ※1

キヤノンでは、オフィス向け複合機の「カーボン・オフセット」を推進しています。製品ライフサイクル全体で排出するCO₂を省エネ・省資源の取り組みによって削減し、さらに削減できない分に相当するオフセット・クレジット※2を購入することでCO₂排出を実質ゼロにする仕組みです。そして希望されるお客さまに、「使用・維持管理段階」のオフセット・クレジットを移転する仕組みを構築しており、移転されたオフセット・クレジットはお客さまご自身の削減分として行政への報告などに活用して頂くことが可能です。オフセット・クレジットの移転詳細につきましては、担当営業にお問合せください。

【本製品のカーボン・オフセット可能量（1台あたり）】

下記数値は、一般社団法人サステナブル経営推進機構が運営するカーボンフットプリントコミュニケーションプログラム（旧CFPプログラム）※3の仕組みに基づいて算定しています。

カーボンフットプリント 算定結果 (kg-CO ₂ eq) ※4	段階別	原材料調達段階	生産段階	流通段階	使用・維持管理 段階	廃棄・リサイクル 段階
2,700	CFP算定結果 (kg-	1,300	120	49	1,100	120

※1.カーボン・オフセットの取り組みについての詳細はホームページで公開しています。(<https://canon.jp/corporate/csr/environment/customer/carbon-offset>)

※2.カーボン・オフセットに用いるために発行されるクレジット

※3.カーボンフットプリントは、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算し、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組み

※4.端数処理により段階別の合計値と若干異なる場合があります。